

ジャクソンビル訪問

2015 年 7 月 9 日

総領事 長嶋伸治

去る 6 月 24 日から 27 日の間、フロリダ州北部の州都タラハシーと北東部の港湾都市ジャクソンビルの両市を訪問いたしました。州都での在外公館長表彰の実施や日系企業訪問、米側経済界の方々との面談など盛り沢山の日程でした。在外公館長表彰は別途記事を掲載しますのでそれ以外のいくつかの会合につき以下に記します。

ジャクソンビル港

テイラー総裁にお目にかかりました。同港は東海岸で 5 番目の規模を誇り、全米一の自動車輸出港で、かつ毎年全米一、二を誇る日本からの自動車陸揚げ港です。同港は所有している港湾を複数の荷役会社にリースしており、同港全体ではコンテナ、自動車、ばら積み貨物、武器、軍事物資などあらゆる物資を扱っているとのことでフロリダ産のグレープフルーツもここから日本に輸出されているそうです。



左から丹野副領事、テイラー総裁、小職

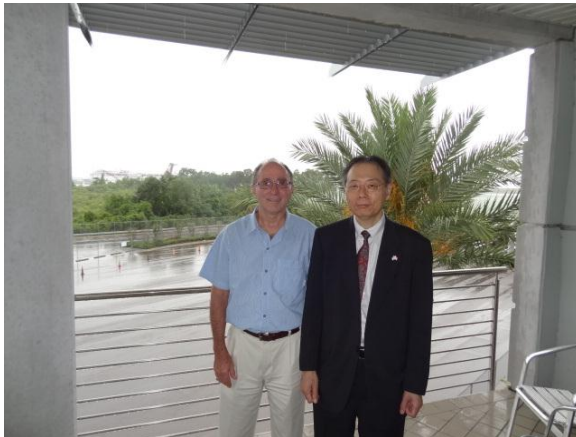
河川港である同港の現在の課題は、パナマ運河の拡張工事完成後にさらに大型の船舶が航行することを念頭に河口から 27 マイルに渡り大型船の吃水に合わせて浚渫する他、周辺の施設も整備することであるとの説明がありました。

テイラー総裁はジャクソンビルは港もさることながら全米を繋ぐ幹線道路、鉄道のハブであり、全米へのアクセスが容易であることから、今後の発展の余地は極めて大きく、さらなる飛躍を期したいと力強く語っておりました。

TraPac 社

ケリー副社長をお訪ねしました。同社は商船三井の子会社でジャクソンビル港でコンテナの荷役を行っており、2009 年に事業を開始したそうです。3 億ドルと言われる同社の投資額はその年の対フロリダ全外国投資の中でも最大のものだったそうです。

現在はコンテナの荷役、保管、配送を行っていますが、埠頭に人影は見かけませんでした。説明によると従業員は管理職、技術者その他合わせて 20 名程度



ケリー副社長（左）

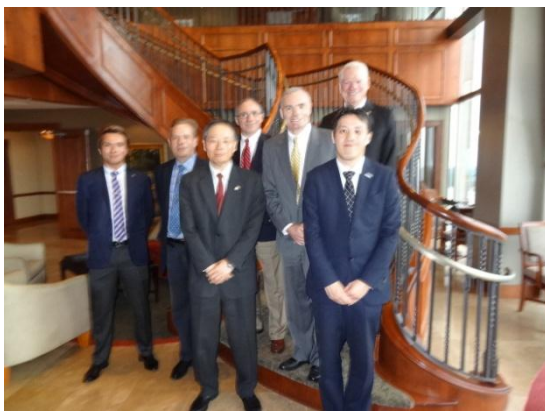
であり、埠頭で荷役されてる何千というコンテナの作業は全て GPS に連動しているコンピューター化されたクレーンが作業しており、人手は一切かかっていないとのことで驚きました。会社のキャパシティーを活かしてさらに発展を期したいとの抱負を伺いました。

パイロット・アメリカ社

ご担当者から説明をいただきました。筆記具メーカーの同社はジャクソンビルの物流インフラを活用すべく、以前他州にあった北米本社と同地の工場とを一体化して同地で事業を展開しているとのことでした。主たる事業としてはボールペンの完成品及び部品を日本から輸入し、一部は同工場でも組み立てつつ米国内に販売していますが、同ボールペンは同社の大ヒット商品となっているそうです。ジャクソンビルは物流の交差点であり、日本から輸入したコンテナをトラックで工場に横付けして荷を下ろし、組み立てあるいはパッケージの後再びトラックで全米に配送しており極めて効率が良く、立地条件は事業に最適とのことでした。



パイロット・アメリカ本社にて



最上段がジョージ・ゲブル氏

ジョージ・ゲブル氏主催昼食会

同氏は米国南東部の 7 つの州が結成している米国南東部会のフロリダ州代表団長を務められた方です。同氏は弁護士で日本の海運会社による共同保険のとりまとめをしておられます。同昼食会には先に面談したジャクソンビル港テイラー総裁、TraPac 社ケリー副社長に加え、米国南東部会フロリダ州代表団の

ウッドワード事務局長、パイロット・アメリカ・マックウィリアムズ国際関係マネージャーが招かれており、和やかに懇談する機会を得ました。当方からはアベノミクスによる日本経済の現況、当館の業務などについて説明いたしました。普段の接触は必ずしも多くはありませんが、こうして歓迎して頂けたことを大変有り難く感じた次第です。



ファレス校長（小職の右）とスタッフ

ボールズ高校

ファレス校長にお目にかかりました。同校は北フロリダで唯一日本語コースを有している高校で、少なくとも十数年前から日本語コースを設置してきているそうです。外国語教科は仏、スペイン、ラテン、日本、中国の各国語があり、最近では米国以外の生徒が日本語を履修するケースが多くなっているそうです。

当方からは同校はフロリダ州で日本語コースのあるたった二つの私立高校のうちの一つであること、将来大学に進学した後に JET プログラムを通じて訪日する機会もあるなど生徒にとってもメリットがあり引き続き日本語コースを維持して頂きたい旨お願いしておきました。また、本年初めに同校で当館の文化イベントとして映画上映を行いました。今後とも総領事館として出来るだけ協力していきたいと考えている旨お伝えしました。

当方所感

フロリダ州は日本の約半分ほどの面積があり、ジャクソンビルへも飛行機で約1時間半弱かかります。従って我々総領事館員が同地の在留邦人、日系企業、さらには日本関係の米国人の方々と直接お会いできる機会も自ずから限られてしまいます。それにもかかわらずこうして温かく迎えていただき、かつ日本との関係を大事にしてくれている方が大勢おられることは誠に心強く、日本の友人がフロリダ各地にいることを実感でき大変嬉しく感じました。今後とも機会あるごとにこうした友人達との関係を維持し、将来につなげて行くべく努めていきたいと改めて思った次第です。

（了）